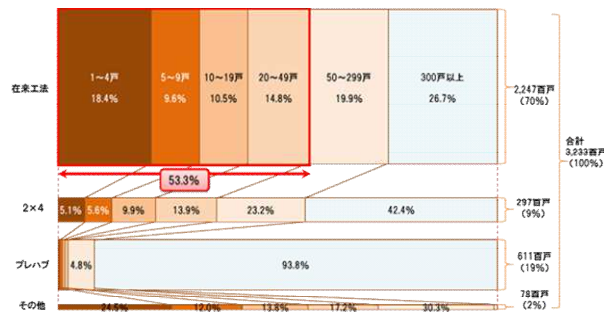
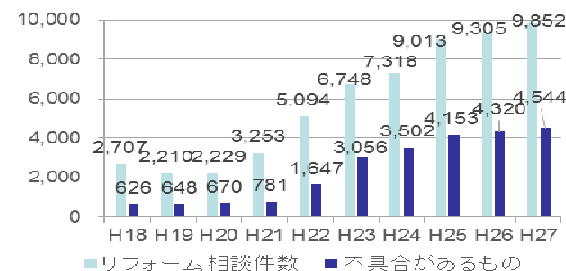


急激な大工技能者の減少・高齢化に対し、地域における木造住宅施工技術体制を維持・整備し、地域の優良な住宅ストックを形成するため、民間事業者からなるグループが行う大工技能者育成のための研修活動を支援する。

● 木造住宅供給の担い手



● リフォーム相談件数の推移

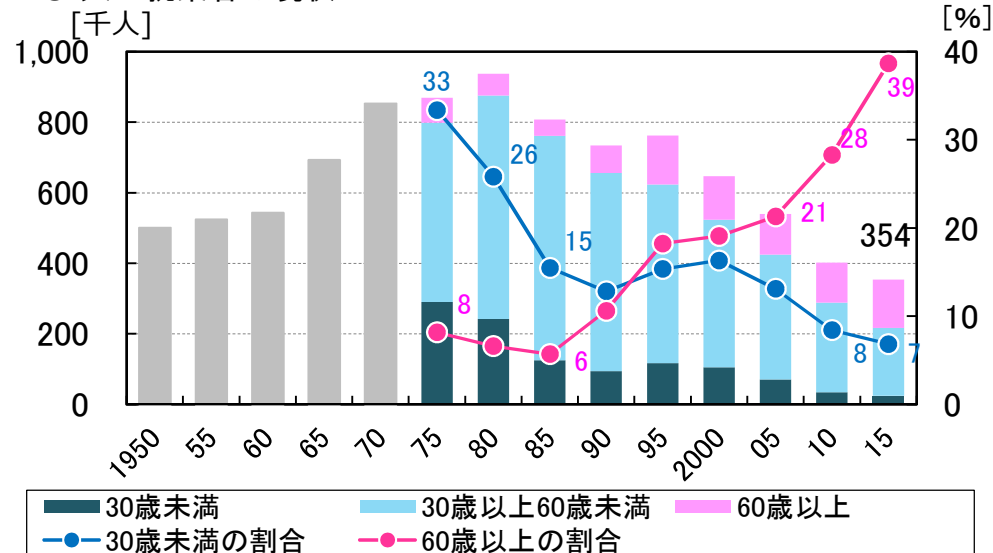


○ 住宅ストック5,000万戸のうち、木造戸建住宅は2,500万戸に達し、ストックの約半数を占める。

○ 在来木造戸建注文住宅の約半数は中小の大工・工務店が供給している状況。

○ リフォーム相談件数は近年増加傾向にあり、住宅ストックの適正維持・更新へのニーズが高まっている。

● 大工就業者の現状



- 大工就業者は現在約37万人。この20年で約半分減少。
- 特に30歳未満の新規入職者が大幅に減少し、高齢化率が上昇。

1. 事業内容 : 民間事業者からなるグループが行う大工技能者育成のための研修活動

2. 補助事業者 : 民間事業者又は民間事業者からなるグループ等 (団体・協議会等)

※ ただし、グループを構成する事業者が手がけた建物の維持・更新について、グループ内で適切に継承できる体制が確保されているものに限る

3. 補助対象 : 研修会の運営に必要な経費

4. 補助率 : 右記研修区分①は定額、②は1/2

< 支援対象とする研修内容 >

区分	主な研修内容
① 全国的に共通する課題に対応した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・リフォーム等による地域の住宅の適切な維持・更新対応 ・被災住宅応急修理、応急仮設住宅供給対応 ・長期優良住宅対応 ・その他、特に政策的に対応が必要と認められる取組
② 生産性向上又は地域の気候風土対応等の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅生産における機械化、資材の標準化対応 ・地場産材・産品活用、地域に承継される工法対応 ・労働安全衛生管理、多能工育成